

連盟通信えひめ

発行所

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL 089(923)1595

発行責任者 植岡道玄

ご挨拶

会長 植岡 道玄



秋晴れの下、平地の紅葉は気候温暖化のせいかわ11月下旬ころ、行楽には少し早いこの頃です。

会員の皆様には連盟活動にご支援頂きありがとうございます。

16年ぶりに政権交代となり何もかもが新しくなるという風潮が出て、既成のものが中止、廃止、ゼロとなったものが軒並み出てきています。臨時国会が2ヵ月遅れで開かれており与党連立ベースで進んでいますが、看護関係のものはこれからでしょう。医療界にも変化の兆しが垣間見えるなか、中医協の委員も民主党の医療政策に近い考えの者が新任されることになるようです。看護連盟は矛先を左右することなく初心を貫きます。

来年には我らの代表を必ず国政におくり、医療を支えている皆さんの現場の声を実現に結び付けたいと願っています。

平成21年もあと2ヵ月を残すのみとなり、「たかがい恵美子と未来を創る会」のステップ、ジャンプのイベントを企画しておりますので、多くの皆様の参加をお願いします。特に新型インフルエンザには医療の現場から感染に留意され健康に過ごされますようお願い申し上げます。



(佐田岬メロディーラインから見る風車)

若者特集(ポリナビワークショップ)

ポリナビとは看護連盟20歳代会員を中心として2007年に発足しました。

「Politic Navigators Network」の略で「政治・政策というアプローチの中で自分たちにもできることを模索し、日本の医療を今よりも素敵なものにすることを目指す」若者の集まりです。

私たちの働く環境や、日本の医療を再生するため、そして何より患者さんの笑顔のために、看護がより良いものになるようポリナビワークショップを通して多くの仲間が集まりネットワークを築いていく活動です。

第1回(2007年)は東京で「Expression～看護師が発言すること」、第2回(2008年)は兵庫で「看護の未来を創るために」の各テーマで開催されました。

今回愛媛の9名が参加しましたのでその報告を掲載します。

若いエネルギーで、明るく楽しく活動の輪を拓げていくことができばと思います。

第3回 ポリナビワークショップin東京 看護維新 ～過去から未来へ～

日 時 2009年5月28日(木) 13:00～18:00

会 場 JNAホール(日本看護協会ビル内)

主 催 日本看護連盟



若者特集(新規入会者研修)



第3回 ポリナビワークショップ in 東京に参加して

西条中央病院 高橋 エリカ

【目的】

若手看護職が医療政策や政治に興味を持つことで、看護職の政策過程への参加の活性化と、将来を担える人材の育成を図り、より良い医療の実現を目指すこと。これらを目的として、政治・政策の学びを通して、自分たちに出来ることを模索し実現化していく。

【概要】

第1部 「日本の歴史から政治を考える」
山田宏先生(東京都杉並区区长)

【感想】

「自分の人生を豊かにすることは、物事・歴史をどう肯定的に見ることが出来るかである。」という言葉をかきり、過去の人たちに感謝し・過去を理解し・自分の事として捉える事が出来れば日本の国は良くなると説かれた。昨今の日本人の精神は、行き詰まっています。だらしく、自分勝手に、自分さえ良ければ、今さえ良ければと暮しているから、今行き詰まってしまっている。過去の人たちの苦勞があって、今の生活がある。その人達に目を向けられるように、背筋を正して生きていきたいと改めて感じた。今まで、感謝といってもお世話になっている方であって、過去の苦勞を背負ってきた人達にはなかった。まずは、自分の家系から始め地域、病院などの歴史を知り、未来を創造していきたいと思いました。「歴史は駆伝である。」一杯努力した物を引き継ぐから、自分も出来る限りの事をして次の人に引き継ぐ。その時に感謝と尊敬があるから周囲を感動させることが出来る。命は借り物である。その命を大切に扱い次の世代へと引き継いでいかなければならない。

また、「命は他人に最善を尽くしてこそ幸せを感じ輝く」とも言われていた。看護こそ、一番幸せを感じ輝ける職業なのではないかと思う。それなのに、なぜ看護師は満たされないのだろう。そこには、職場環境・育児環境・家庭環境様々な問題が上がってくるのだと思う。だからこそ、政界に看護職を配置し政策を豊かにしていってもらわなければと思った。こういった講演を聴いていなかったら、政治にはあまり興味が無かった。でも、そういった看護師が多くいるから、私たち看護師は人数が多いだけで政治力が無いのだと思う。「いくら、良い物が在ってもその良さを知らないそれは無きに等しい」という言葉があるかと思いますが、今回のように、若者が集まる場をもっと増やして、理解を

深めこれからの未来の生活がより良くなるように自分も一助に成り得たらと思いました。

自分の子供達にも後輩達にも明るい未来を築いてもらいたい。自分が過去を理解し、未来を夢見て、今を精一杯生きていきたい。感謝の念を忘れないように。

第2部 「ナース服からの看護の歴史を振り返る」

【感想】

明治時代から平成のナース服を実際にみて、機能的に衛生的に変化してきているなど感じました。同時に、看護政策の歴史も知ることができ、良かったと思います。

これから、もっと、ナース服は進化をしていくと思いますが、それに負けない政策が今後進められていることを信じ、私も努力したいと思います。

第3部 「夢コンテスト～我々ができること」

【感想】

グループワーク後に自分たちの夢を語っていったのですが、全国にすばらしい夢をいくつも抱いている人たちがいて、今の看護界も捨てた物じゃないなど感じました。自分の夢、今の現状等を気兼ねなく話せる場が、もっとあったなら看護の職場ももっと明るく働きやすい職場になり、家庭環境も良くなり、地域も活性化できるんじゃないかということが夢ではないような気がしました。まずは、愛媛県でのポリナビ開催に向けて若人で語り合っていきたいと思います。

*今回は、ポリナビに参加させて頂き本当に良かったと思いました。愛媛県はじめ徳島県の方達とも交流を取ることができたので、今後四国での交流に向けて等夢は大きく羽ばたいていけたらと思います。ありがとうございました。

ひとくちメモ

選挙運動とは

特定の選挙で特定の候補者を当選させるための行為(公示日から投票日前日までの期間に行う)

政治活動とは

政党や政治団体(後援会)がその政策の普及宣伝、組織拡張等を行うこと

済生会西条病院 矢野 麻美

今回「第3回ポリナビワークショップ」に参加させていただきありがとうございました。

今回初めて「ポリナビ」に参加させてもらいポリナビというものはどういうものなのか知ることができ、また、全国からの同じ世代のナースたちと出会い同じ看護職として仕事での悩みや日々頑張っていること、業務改善などの内容を話しあうことができました。私の病院では同じ世代の経験NSが少なく年々辞めていくことが多く、このような場の機会があったことを深く感謝しています。

私のまわりの選挙権を持っている若い年齢の人は、看護職ではない人も含めて、政治に興味があり自ら選挙に行ったりする方は少ないです。私自身も政治や看護医療政策に興味があるけれど、今自分がどのようにすればいいか、どういった活動をすればいいか疑問を持って日々過ごしています。しかし、今回このような会に参加させてもらい、今看護の現場ではどういうことになっているのか、自分が実際に現場にいることでどういったところを変えてほしいかととも興味があります。

元日本看護協会常任理事の方である、たかがい恵美子先生の話聞き、「看護職に携わったことで自分の生活自体を豊かにしてくれたり生きる力を与えてくれた」と話されとても衝撃を受けました。私も看護職をしているので同感です。けれど実際、子育てなどを働きながらしていく上でいまの状況ではまだまだ厳しい面があると感じます。看護師不足による過労働、残業勤務、夜勤低賃金、十分な子育て支援ができていないと思います。それにより看護師が辞めていく状況ができてしまうのではないのか？と考えます。私たちの職場は大半以上が女性が活躍している職場であり、家庭を持ち子育てを当たり前に行ける職種になってほしいです。今私たちにできることは看護医療政策に対し興味をもち選挙に行くことだと感じました。そして、私たちの職場環境などをよくしていくために周りにいる同職種の人たちにも政治に興味をもつように伝えていくべきだと感じました。私たちの手でもっと変えていかなければいけませんし、未来に看護師になる方が増えていけばいいなと思います。

また来年も「ポリナビ」があるのなら是非参加させていただきたいです。

十全総合病院 看護師 濱本 光

今回はポリナビに参加させていただきありがとうございました。この感想文では、参加して率直に思ったこと、個人的な考えや変化などを述べたいと思います。

まずこのポリナビに参加して感じたキーワードがあります。それは「仲間」「過去と未来」「規模」の3つです。以下はこの3つのキーワードに沿って述べていきたいと思います。

まず「仲間」です。このポリナビで一番強く感じたキーワードです。私はこのポリナビに参加する前までは「連盟」という組織や参加している人を特別視していました。そのような活動が好きで、興味がある人がやっているのだと。そして全国の参加者も連盟の活動に興味があり、ポリナビに参加したのだと思っていました。しかし実際には自分の立場(考え)にいる人が多くいることに気づかされました。また東京のポリナビ実行委員会の活動や思いを聞いているうちに、尊敬できる面が多々あり、刺激を受ける面が多くありました。通常の業務に加えこのポリナビの活動をする。これはとても負担が大きいことだと思います。しかし実行委員の方たちは個人レベルでそれを必要と感じ、各々が楽しみながらしていました。その感じは私だけでなく、全国から集まった参加者も感じたのでしょう。会が進むにつれ連盟に対する硬いイメージ、選挙のイメージが薄れ、全国から集まった仲間の会という雰囲気になりました。そして積極的な意見も出始め、夢コンテストや親睦会でも、とても刺激を受ける意見がたくさんありました。最終的には私も感化され、看護師として、愛媛県の代表の一人としての責任感を感じずにはいられませんでした。何がどこまでできるのか、それはまだはっきりはしていません。しかしポリナビ実行委員の方たちの今回までの実績、全国に同じ思いでいる仲間の個人個人の夢やモチベーション、また存在を常に感じ続けることができました。この思いを自分自信のモチベーションにして、「連盟」という活動を自分も微力ながら努力しなければならぬと思いました。

次に「過去と未来」というキーワードについてです。ポリナビに参加するまでの正直な気持ちとしては、「今まで先人の方が頑張ってきたのは知っている。だけどなんか苦勞の押し売りみたいだし、過去の苦勞も何回か聞いたこともある。別に感謝をし

ていないわけでもないし、選挙が大事ならストレートに言ってくればいいのに。それに結局どうなるんだろう。はっきりとした形で自分の現場にどう還元してくれるかわからない。」と、かなり歪んだ思いを持っていました。しかし講演を行ってくれた杉並区長の山田さんは、現代社会は「今だけ、自分だけ」になっているとおっしゃいました。そして「今だけ、自分だけ」になり、過去を肯定的に認識できない社会にはその後の発展は見込めない、と言う内容でした。これは看護界でも言える事だと思います。このような言葉を聞き、ポリナビに参加する以前の自分の思いというのはとても「他力本願であり、多くを望み、自分では何もしない自分」である事に気づかされました。これまでの気持ちには「自分はこうしたらいいのか」という考えはなかったのです。そしてもっと本質的に看護の過去を理解し、個人レベルで解釈できなければならぬと感じました。またこの先の未来は、今度は自分たちでなにかしら道を切り開いていくべきだと感じさせられました。この会で協会長、山田区長、連盟会長、そしてたかがいさんの言葉。また実行委員の方たちの言葉。それは間違いなく過去を知り、未来を切り開いていくという力を感じました。今の自分にはその思いのある言葉を口に出すことができません。それは過去をしっかりを受け止めていないから、未来を自分自身の事として捉えられていないから。今後は私も自分の言葉に、「看護」という言葉に、これまでの看護師の先輩方の思いを乗せて口に出せるようにしなければならぬと思います。

3つ目は「規模」です。「規模」と表現するのは少し間違っているかもしれませんが、このポリナビに参加する事で、「連盟」もしくは「看護」の社会的立場の確立と言うものをより全国規模で考える事ができるようになりました。先ほど述べた「仲間」そして「過去と未来」、これらを全国から集まった人たちと共感する事で、はじめて個人の思考レベルで広くそして身近に捉える事ができるようになったのだと思います。同じ気持ち、同じ思い、同じ悩みを持っている人たちが全国にいる。また自分には夢があり、全国には自分よりも大きな夢を持ち、そしてそこにはみんなで協力しなければ打倒できない壁がある。そして今その思いを背負って前に進んでくれる人がいる。結果的にはそこ(選挙)に考えがたどり着くのだと思います。しかしその思いのものが「他力本願・自分の今日の前の利益」ではなく、「看護という同じ志

をもつ仲間と未来の自分」であるならば、今の同世代の仲間や以前の自分のような仲間にも伝わるのではないのでしょうか。私には幸運にもこのポリナビで現実として受け止める事ができるようになりました。しかし多くの同世代の人たちは、自分の目指す夢の先に制度という壁が見えにくいのだと思います。私を含め今見える目標はとても個人的なものが多く、その先にある「制度」には目が向かないのが当然なのだと思います。もちろん目が向かないのならば身近には感じる事ができないのは必然だと思います。だからこそ今後は今の気持ち、そしてポリナビの前の気持ちを持ち続けることが重要なのだと感じています。

最後に、このポリナビで自分の「看護」に対する視点を広げていただいたことに感謝の弁を述べさせていただきます。今後は自分の周りから、自分のできる範囲で、一つずつこのポリナビで得られた視点や考え方を広めていけるように努力していきたいと思っています。その為にはまず自分の言葉に責任と思いを持てるよう自己学習を重ね、東予支部での活動に積極的に参加していきたいと思っています。今回はポリナビに参加させて頂きありがとうございました。

衆議院選挙が終わりました
参議院選挙にむけて…知っておきたいこと

第1問 公示前に行ってはいけない活動は？

1. 候補予定者の講演を聞きに行く
2. 候補者予定者の政策リーフレットを配る
3. 候補予定者への投票を依頼する

第2問 前回の参議院議員選挙比例代表で、看護職の候補者がとった票数は看護協会の会員の何倍？

1. 3倍くらい
2. 同じくらい
3. 3分の1くらい

第3問 過去に看護連盟の組織代表者がとった票で最も多かったのは何票？

1. 100万票
2. 60万票
3. 20万票

答は最後に・・・

村上記念病院 菅 俊美

ポリナビって何?と思しながら一人東京へ向かい、無事JNAホールへ到着。お洒落なショップに囲まれ思った以上に綺麗な所でした。見知らぬ人達に囲まれてワークショップ開始。まず杉並区長の講演を聞きました。印象に残ったのが『根がないと花は咲かない』、『過去をみて、夢をみて、今を生きることが大切』という言葉で、何だか胸に響きました。いい話が聞けたと思っているとファッションショーが始まりました。看護の歴史と白衣の歴史をショー形式で紹介してくれました。これにはさすが若者ならではの発想で、つまらない歴史の勉強も伝え方一つでおもしろいものになるなと感心しました。

和やかな雰囲気の後には看護を通じて20年後の自分達の夢について語りました。困った事に私は、夢を持つ事が夢かもという位仕事がストレスで今夢をみる余裕がありません。夢があるから偉いわけではない、ないといけないものでもない。しかし夢は生きる糧。中には素敵な夢を持つ人もいて何も無い自分に焦りと虚しさを感じました。

不満を言いたいわけではないけれど、本音を言うと日常業務も人間関係も煩雑で仕事をするだけで必死。こんな状態で患者中心の充実した看護なんて出来ない。実際私は一度看護職から退きました。恐らく私のような人も少なくないでしょう。その原因に看護師不足、人材育成力の不足、待遇の悪さ等が考えられます。今は簡単に訴訟を起こされる時代、複雑な業務やストレスを抱える中での多くはない収入、正直なところママナースを中心に看護師の病院離れが進むのは十分理解できます。

そんな事を考えながら浮かんだ私の夢が、人が育ち、離職率の低い働きやすい病院にしていこう。女である以上結婚や育児を考えると働きやすい職場は必須条件です。人材育成は自分達で何とかする。しかし環境や待遇改善はもっと大きな力がないと不可能です。

最後にたかがい先生の話聞き、夢の実現やよりよい未来のためには、自分達の代表を政治に送り出さねばならないと思いました。

眠っていた感性が目覚めたような刺激的で世界がひろがった1日。ポリナビワークショップ、また参加してみたいです。

済生会松山病院 小田 典之

今回このような貴重な場に参加でき自身の大きな糧となりました。

まだまだこのような活動には多く参加できておらず、なかなか内容を理解できずにいました。以前から協会、連盟の活動には参加させていただいていますが、今回のように青年を中心とした活動に参加したのも初めてで、しかもこのような形のものがある事も知ることができました。

これまで参加してきた連盟の活動は、政治活動を中心に、講演等があったのではと私の中では感じていたのですが、このポリナビに参加して感じたのは我々が看護という道に進んだ動機についてはそれぞれあるものの、やはり現在臨床で働いている現状で何らかの夢を持ちそれに向かって日夜、研究・試行錯誤しながら一歩ずつ前進しているというものでした。

実際、私も看護の道に進んだ動機は漠然としたもので特に目標もなく、今日の御時世の中で何か手に職をというものでした。新人時代はデスク上と、現場とでは全く違い日々の業務に追われ一日を漸く過ごすのが精一杯でした。少しずつ業務に慣れていくうちに、患者さんは同じ人間であっても自分よりも弱い立場に立っていることに気づき、患者さんの為に何が出来るか、どうすればよいかを考えるようになりました。また、結婚し家庭を持ち家族を得ることで、今まで以上に待遇に対しても考えるようになりました。

これらの事を実行し、一歩ずつでも前進するためには何が必要か。それが、政治参加という所に結びついてくるものだと思います。社会が、制度が変わらなければ現場が変わるわけがない。その為にこういう活動ができる、こういう場もてるというのは実に幸いなことだと思います。制度改革に徒事している先輩方に次いで我々中堅クラス以下がもっと政治に対して意欲を持ち、自らの夢を実現するためにも先輩方が築いてきた過去を元に未来を見据えて現在の良き活動方法を考えて行ければと思います。

最後になりますが、私の夢は政治家との壁・医師との壁を取り除き、看護師がもっと主張でき働きやすい社会を築き、弱き者が安心して過ごせる時代にする事です。何か一つだけが変わってもいいけません。全てを変えなければ…。日本は世界の歪みに捨てられることになり兼ねません。

愛媛大学医学部附属病院 看護師 太田 敬子

今回ポリナビに参加して、本当に貴重な体験をすることができました。杉並区長やたかがい恵美子さんのお話を聞いて、スムーズに政治や看護についての話が頭に入ってきて、改めて現在私たちにできることを考え直すきっかけになりました。

たかがいさんの話の中で「看護師は太陽です」という言葉がありました。私たちは実際に患者さんに触れて、手のぬくもりや温かさを与えることができる、本当に素敵な職業であると改めて感じました。今まで政治と看護は、関係ないと考えていましたが、看護と政治は密に繋がっていることを知り、もっと政治に興味を持つ必要があると感じました。また、政治に興味を持つことで、職場環境が改善されるなど、私たちの看護がより良い方向へ向かっていくのではないかとということも学ぶことができました。

夢コンテストでは、たくさんの方々の夢や考えを聞くことができ、同じ看護師なのにこんなにも将来の目標をしっかりと掲げ、それに向かって努力しているということを知りました。また、夢を語る方は皆さん輝いていたのが印象的でした。日々の忙しさから忘れていた、昔抱いていた夢や希望について思い出すきっかけとなり、現在自分がしないといけない事、今後していきたい事について明確になり、日々頑張っていこうという気持ちになりました。

何よりも、グループワークで、同じ県内の病院の方とも話し合うことができ、看護に対する考え方や、新人指導に対する方法などについて話し合えたことが、良い経験となりました。実際に、新人指導について悩んでいた私にとって、色々なアドバイスをいただき、今後役に立つものになりました。

今回は病院から代表として参加させていただき、こんなにも多くの学びを得ることができ、このような機会を与えていただいたことに、とても感謝しています。今後、このポリナビが全国各地で開催され、もっとたくさんの人に、看護や政治について考え、仲間との触れ合いや色々な考え方を知る機会が与えられたらと考えます。また、そのための架け橋になればと考えます。本当にありがとうございました。

愛媛大学医学部附属病院 看護師 松友 恵美

今回、ポリナビに参加できたことで、看護職と政治の関連や看護の歴史を学ぶことができ、今まで私自身、関心の薄かった看護連盟について知る良い機会となりました。そして、なによりも同じ専門職として働いている仲間が全国にいること、悩みや不安、自分の夢を語る事が出来る多くの仲間に出会えることができ、とても励みになりました。

たかがいさんのお話の中で「看護職は太陽である。これからの時代を担っていくのは私たち看護職である。」という言葉からも未来に眼を向け、私たち専門職が、自分たちの仕事に対し誇りと自覚をもち、責任ある行動をとらなければならないことを痛感しました。そしてさらに、これから同じ職業を目指す人たちに夢と希望を与える努力を私たち自身が率先して担っていかなければならないという責任感を感じました。

私は、看護師として現在の病院で働くようになった当初は、なかなか社会人として、また専門職としての自覚を持つことができず、学生気分の抜けない時期を過ごしていたように思います。しかし、2年、3年と仕事を続けていくとともに、日々の業務から病院環境へと視野が広がり、患者さんだけでなく職場の方々や、病院を支え、築いている多くの人々と出会い、人と接する仕事の楽しさを感じてきました。私の働いている病院は、「患者様から学び、患者様に還元する看護」を目指しています。専門職として知識や技術を身につけていますが、社会人として、また一人の人間としてはまだまだ未熟です。看護という仕事の中で、人の命の尊さ、人の温かさや、うれしいこと悲しいことを共有する大切さを学び、自分の人生の糧としながら、次の看護に活かしていくように努めています。機械化、IT化、デスクワークの多くなる時代の中でこんなにも、出会いが多く、そしてたくさんの人々の人生の一端に触れることのできる仕事はほかにはないのではないかと思います。

これからは、健康増進、健康被害の予防の時代であるといわれていますが、高齢化社会、介護問題などがますます加速していることは否めず、私たちの担う役割も多様化しながらもより一層、必要性がましてくると思います。病院勤務の看護師として、地域の保健師として、訪問看護師としてなど選択肢は多くありますが、どのような形ででも、専門職として社会貢献していきたいと思っています。

松山市民病院 看護師 福岡 彩

「ポリナビワークショップ」といわれても、初めは今ひとつどのようなものなのか想像がつきませんでした。リーフレットをみて、看護の歴史を知り、今自分たちにできることを考える集まりだということはわかりましたが、それが実際、具体的にどうのことをいっているのか全くわかりませんでした。「ベツサイドから政治をかえる」という看護連盟スローガンのもと、看護政策がどれだけ重要なものなのかはわかっていたつもりです。法律を変えることで、いずれは労働環境が良いものとなり、看護職の離職率を下げ、これからの社会を支える医療となることは、わかっていたつもりでした。しかし、それはどこか他人事のように、きっとそのうち、誰かがどうにかするだろうといった気持ちだったと思います。今回の、ポリナビワークショップに参加して改めて、看護政策の重要さを知り、今自分に出来ることを考えるよいきっかけとなりました。

「看護職の離職率は、平均9.2%というなが「7:1入院基本料」が制定され、中小病院から大病院へ異動する看護師がふえ、現在中小病院の看護師不足は、深刻なものとなっています。過密な勤務スケジュールのもと働いている看護師の中には「早いうちに他の病院へ移らないと」「辞めてもっと楽な仕事へ」「家族の時間がもっと欲しい」と離職を考えている人は沢山います。「自分さえよければという自分勝手な思いが蔓延している」と山田宏杉並区区長はおっしゃいましたが、確かに看護職の中にも、そういう考えは蔓延しています。そうならざるをえない状況になっているのだと思います。

今回、同年代の看護師が集まり、お互いの夢を語り合うことで私は大きな刺激を受けました。「教員になり、多くの優秀な看護師を育てたい」「過疎化の進む地域、自分の施設をもっと有名にして看護師をよびよせたい」みんなそれぞれの夢を目を輝かせながら話していました。「次の社会は看護職が作る。まずは日常のつづやきから広げること」と、たかがいさんはおっしゃいました。私は「自分も負けてはいられない」とポジティブに捉え、元気をもらって帰ってきました。まずは自分の目標を口にし、誰かに伝えるということ。それだけで、周りにポジティブな力を与え、未来を作る今をみいだすきっかけを作れるのかもしれない。小さなことから始めて、大きなものへつながり、それはいつか、法律を変え、労働環境を変え、離職率を下げ、超高齢社会を支える医療となり、日本を支える社会の中心となっていくのかもしれない。

大きな事は考えず、まずは、今自分にできる小さなことから始めたいと思いました。

市立大洲病院 看護師 木ノ戸 里枝

ポリナビって何？と思いながらの東京出張だった。天気はあいにくの雨だったが、全国から200人以上の参加であった。看護教育や日々私達が実践している看護を根本的に支えている看護政策や重要性について学んだ。どの現場も厳しい状況にあるということと、年間10万人の看護職が辞めていく現状をふせぐには、職場の環境作りが大切なんだと知った。

正直政治には興味がさほどなく、知識もなかった。しかしより良い職場環境作りのためには、法律を変えていくべきであり、変えるためには政治の力が必要であると学んだ。今働いていて生活しているのが普通のことだと思っていたが、資格をとり、働いて、教育をうけられる今の自分があることは自分達の先輩達が未来のより良い環境や生活のためにと積み重ね努力してくれたからこそあるのだと実感した。

杉並区区長の、山田宏氏の基調演説では、「今の日本は自分さえよければいい。誰も見てなければいいという人が多い。昔はおてんとう様は見てるよと教えられ育った。」と述べられた。「過去を大切に未来を考え、日本をより良くしていこう。」と講話された。最後に前日本看護協会常任理事たかがい恵美子氏の「看護は太陽。暖かく癒してくれるそれが看護なんです。」と心に残る言葉を伝えられた。

明治から現代までの白衣のショーがあり、歴史を感じ、夢コンでは全国から集まった皆の前で私自身発表させて頂いた。懇親会では沢山の方と交流を図ることができ、めったとない貴重な時間を過ごせた。今後は愛媛でもポリナビを開催できたらと思い、愛媛から参加したメンバーで打ち合わせをする予定であり、若手がどんどん連盟や政治に興味をもって、未来のために何か小さなことで今後後輩のために何かできたらいいなと思った。今後、ポリナビを広めていきたい。

問題の解答

第1問 (3)

第2問 (3)

第3問 (2)

新規入会者研修報告

今 治 支 部

開催日時	会 場
平成21年9月7日(月)	ホテル アジュール(今治市)
参加人数	26名
目 的	看護連盟の存在意義について再確認し、会員としての自覚をもって行動できる。気分をリフレッシュして、明日への活力を養う。
内 容	講義「ベッドサイドから政治を変える」 グループワーク
実 技	フラワーアレンジメント



- ・看護連盟の役割が理解できた。
- ・リフレッシュできた。
- ・新規採用者同士という共通感からか、話しやすく楽しく研修できた。

西 条 ・ 新 居 浜 支 部

開催日時	会 場
平成21年9月5日(土)	バスツアー 城川町 ギャラリーしらかわ
参加人数	45名
目 的	会員の親睦と看護連盟を理解する
内 容	看護連盟の歴史、看護連盟と看護協会の関係を支部役員たち手作りの紙芝居で学習し、たかがいさんについてビデオを使って学習した。また若手会員出題の政治に関するクイズで楽しく過ごした。



- ・紙芝居やビデオを通しての説明で理解しやすかった。
- ・クイズという形で連盟や政治について触れることができた。
- ・かまぼこ板の絵に感動した。

中 予 支 部 合 同

開催日時	会 場
平成21年9月12日(土)	バスツアー 久万高原町 ふるさと村 美術館
参加人数	68名
目 的	看護連盟について理解するとともに会員相互の親睦をはかる
内 容	講義「ベッドサイドから政治を変える」 ふるさと村と美術鑑賞



- ・DVDや講演を聞き、看護連盟について知ることができた。
- ・バーベキューが他施設の人との情報交換の場となり楽しかった。
- ・美術館ではゆっくり過ごすことができ、いやされた。

南 予 支 部 合 同

開催日時	会 場
平成21年9月26日(土)	道の駅 ささいや広場研修室 (宇和島市)
参加人数	39名
目 的	看護連盟について学び、食事を共にして会員相互の交流を深める
内 容	講義「看護連盟について」 ポリナビ参加者による連盟活動について



- ・若手の木ノ戸さんのポリナビの話が聞けて良かった。
- ・今、研修会や学習会に参加できることは、恵まれている環境であることに気づいた。
- ・仕事が忙しくても選挙に行くことから始める。
- ・政治への嫌悪感があったが、必要なものと感じた。

たかがい恵美子参議院選挙に向けて



参議院議員選挙 2010年7月

ジャンプ 2010年6月

ステップパート2 2010年2月

ステップ パート1 たかがいさん来県!! 参加受付中

お申し込みは愛媛県看護連盟まで Tel089-923-1595 Fax089-923-1598

11月22日(日)

10:30~12:30 リーガロイヤルホテル新居浜 「看護の現状と展望」

15:00~16:30 愛媛看護研修センター 「診療報酬改定から見る看護への影響」

16:40~18:00 愛媛看護研修センター 「訪問看護の現状と展望」

11月23日(月)

10:00~12:00 クレメントホテル宇和島 「変わる!認知症のケア」

15:00~16:30 えひめ共済会館 「看護教育の現状と課題」



ホップ 2009年7月13日(月)

たかがい恵美子さんを囲んで

「たかがい恵美子と未来を創る会」開催
愛媛県看護研修センター 参加者68名

見てください!

たかがい恵美子応援ブログサイト
URL <http://ganbare-takagai.net>

ブログメンバー募集中

お問い合わせは
愛媛県看護連盟まで
TEL 089-923-1595



おいしいものの多い秋・読書の秋・スポーツの秋
いい季節の到来!

熱い夏を乗り切った今、たかがい恵美子さんの
お話のように看護師はつねに太陽でありたいと思います。

広報委員一同